

防災一口メモ ⑤

【地震時の心得】

前回の防災一口メモでは、箱根町に影響する地震を紹介しました。今回は、地震に対する備えについて、お話ししましょう。

大規模地震等によりライフライン（電気・水道・ガス）に大きな被害が出たり、幹線道路が土砂崩れによって寸断されたりすると、救助を待つ間、孤立化することが予想されます。

自衛隊や救助隊が到着して救援物資の配給が始まるまで、おおむね、3日程度の食糧と水（大人1人あたり3ℓが目安）それに衣類などが必要となります。特に食糧については、赤ちゃんやお年寄り、病人の方への配慮も忘れずに備えたいものです。

また、気をつけていただきたいことは、「地震の発生＝避難所暮らし」ではないことです。ご自分の家が無事であるなら、そこで生活していただくこととなりますので、家の耐震化はもちろん、家具などの固定が重要となってきます。地震は、直接、人を殺しません。地震によって崩れた家や家具による圧死、そして火の不始末が引き起こす火事のため、多くの犠牲者がでてしまうことを認識し、被害の軽減に努めましょう。



阪神淡路大震災で倒壊した家屋

【地震防災対策10か条】

- 1 まず身の安全を図る
- 2 小さい揺れならすぐに火の始末
- 3 戸を開けて、出口の確保
- 4 あわてて外へ飛び出さな
- 5 火が出たらすばやく消火
- 6 山崩れ・がけ崩れ・浸水に注意
- 7 せまい路地・へいぎわ・がけや川べりには近寄らない
- 8 協力し合って救出・救護
- 9 正しい情報をつかみ、余震を恐れるな
- 10 避難は徒歩で、持ち物は最小限に

とっておきの1枚 拝見!



湯本 上野治巳さんより

この写真は、今からちょうど50年前の昭和29年11月6日に、姫路城の前で撮影したものです。

姫路城が昭和の大改修を行う前の記念イベントに箱根大名行列が招待され、湯本観光協会を中心に約140名が参加して多くの観客の前で演技を披露し、たいへん喜ばれました。（前列左から2人目が上野さん）

皆さんの思い出や記念の写真を募集しています。詳しいことは企画課にお問い合わせください。

わが家のちびっ子



ゆり 岡田 悠里 ちゃん(3歳11か月)

茂幸・理恵さんの次女（湯本茶屋）

♥お母さんからのひとこと
「心の優しい、明るい女の子でいてね。」

町の人口と世帯

人口	14,780 (-24)
- 10月1日現在 -	男 6,965 女 7,815
()内は前月比	世帯 7,225 (-5)



R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています。

ごみ減量標語 カゴ持って ゴミは買わない 主婦の知恵